



2025 年 3 月 31 日

ミャンマー大地震発生後の状況御知らせ(初報)

西日本区クラブ会長皆さま

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区
西日本区理事 鵜 丹 谷 剛
西日本区書記 今 西 宏 樹

拝啓、皆様におかれましては日頃よりワイズダム発展のためにご奉仕下さり感謝申し上げます。

さて、ご存知通り、3月28日(金)午後3時20分(日本時間)にミャンマー北部都市マンダレー近郊でマグニチュード7.7の大規模地震が発生いたしました。ひとまず現時点での知り得る状況等に関し、皆さまへご案内を申し上げます。

報道機関等の案内通り、ミャンマーにおいては、政府機関等の発表によると死者が1700人超え(3月30日時点)の他、ビル、家屋など建造物の倒壊等による多数のけが人、被災者が出ており、既に病院等医療機関において、薬剤、医療スタッフ不足により対応が十分に出来ていない事態の模様です。

また、この週末の間に、タイおよびミャンマーのマンダレーにあるワイズメンバーおよびアジア太平洋地域エリア内での諸ルートを通じた情報等もはいってきております。

タイでは、比較的震源地に近い北部のチェンマイ・チェンライ地区においては、大きな揺れはあったものの、YMCA会館、およびワイズおよびYMCA関係者に被害はなかったとの事です。また、タイ首都バンコクでも、報道どおり今回の長周期地震動の影響で建築中高層ビルの倒壊もあり、被害はタイ北部より深刻なようですが、同じくワイズ、YMCAに関わる被害等はなかったとの事です。

ただ、ミャンマー・マンダレーのワイズメンバー情報では、地域全般の被害はやはり甚大なようです。YMCAおよびワイズメンバーの人的な被害は幸いにもなかった模様ですが、YMCA会館にも亀裂がはいり、周辺の教会他、寺院やモスクなどの建造物の他、住居やホテル、学校等施設などへの被害も相当出ており、一部の街などでは全体の80%近くが何らかの被害を被っているのではないかと状況のようです。

現在、アジア太平洋地域エリアでも、ミャンマー、タイとのワイズメンズクラブとの情報連携をとっており、今後の更なる状況やそれを受けての動きとなりますが、本日エリア執行役員による緊急対応会議も開催されています。またそれらと併せ、日本YMCA同盟からの情報連絡も今後共有しながら、我々ができる支援の検討を実施してまいりたいと思います。

現時点では、これら現地状況を見守りつつ、まずは被害にあわれた方々への安寧を願い、皆で祈りを捧げて頂ければと思います。

ひとまずの概要連絡となりますが、よろしくお願いいたします。